

当選議員
元気に活動をスタート



佐々木ゆみこ
(ネット宮前/県議)

市民社会を強くします

生活の課題は政治の課題です。生きにくさを抱え、表に見えない隠された事実を政治の場につなげていくことが市民政治です。そして誰もが自分らしく暮らせるまちづくりを、人任せではなく、多くの人の知恵と力で創っていくため、市民社会を強くしていきます。県議の議席を沢山のひとと活用していきます。



大西いづみ
(ネット宮前/川崎市議)

子どもが希望の持てる社会にします

子どもの貧困・虐待・世代間の連鎖と、子どもたちを取り巻く状況は厳しいです。孤立した子育てをしなくていいように子育て支援に取り組みます。子どもが将来に希望の持てる社会にしていくために、現場の声を聞きながら、子どもの育ちを社会全体で支えていく仕組みを充実させていきます。



小室たかえ
(ネット横須賀/市議)

孤立させない子育てを実現します

後を絶たない児童虐待は、社会に原因があります。子育てする人を孤立させない仕組みづくりは急務です。保育士の資格と経験を生かし、子育てするなら横須賀で！と思えるまちづくりを、制度の充実と市民協働の両輪で進める2期目とします。子育て世代の定住を図り、笑顔あふれる持続可能な横須賀につくりかえていきます。



山崎さゆき
(大和市民会議/市議)

市民感覚を大切に発言します

議員の議席は、市民一人ひとりの思いの結晶であることを改めてかみしめています。議会は二元代表制の一翼を担うとされながら、その機能を十分に発揮できていない現状があります。市民感覚が大切なのは、おかしいと思うことを発見し、発信できるからです。政治をより自由で納得できるものとするために、これからも発言を続けていきます。



平田いくよ
(ネット青葉/横浜市議)

参加を広げ市民政治を進めます

駅・街角に立ちマイクを持って話すことは、一方的に政策を訴えるのではなく、地域の方との対話の場であると気づかされました。乳幼児一時預かり事業のしくみなど、地域に暮らす人の手で政治は変えられます。これからもっと地域に出て、声を聴き、参加を広げ、市民政治を進めていきます。



谷津えみ
(ネット藤沢/市議)

生活現場からの声を届けます

身近にいる人が議員になり、政治と暮らしが直結していることに気づいてもらえるよう、発信力を強めていきます。子育て・福祉・環境は待たなしの課題が山積していますが、女性の視点があつてこそ多様性を認め合う豊かな社会に近づきます。真に大切なことを見失わず、生活現場からの声を届け、安心安全な地域社会に向けて行動します。



はたい陽子
(ネットあやせ/市議)

地域の合力で市民の議席を獲得

20人の定数に25人が立候補する中、関わっていただいた全ての人の合力により議席の獲得ができました。投票率は前回の42%を下回る39%、得票数こそ伸ばしましたが、課題が残る選挙となりました。市民社会を強くし、生活者のための政治をすることで、政治への参加を広げていきます。



くにかね久子
(大和市民会議/市議)

支え合いの地域づくりに努めます

市民の信託を受け2期目の当選を果たしました。皆さんと得た市民の議席、これからの4年の任期を政策の実現と生活の場からの課題解決に向けて取り組んでいきます。誰もが孤立せず、地域で安心して暮らしていけるよう、市民の代理人として支え合いの地域づくりに力を注ぎ、制度提案していきます。



布瀬めぐみ
(大和市民会議/市議)

政治に関心を持つ社会にします

開票場で見た、積み上げられた票。その1票1票に託された想いに応えていかなくてはと、責任とエネルギーを感じています。子ども・高齢者・食の安全・環境をキーワードに、周りを巻き込んで考え、政策提案していきます。そして、政治を変えていくための手段として、政治に沢山の人が関心を持つ社会にしていきます。

2019年 統一地方選挙 結果報告

選挙区	候補者名	得票数	(定数/候補者数)	順位	投票率(%)
■ 県議選					
横浜市青葉区	青木マキ	19,917	(3/5)	4	41.15
川崎市宮前区	当 佐々木ゆみこ	11,429	(3/5)	2	40.74
鎌倉市	三宅まり	10,979	(2/4)	3	39.78
■ 政令市議選					
横浜市青葉区	当 平田いくよ	8,089	(7/9)	7	41.30
川崎市宮前区	当 大西いづみ	5,129	(9/14)	8	40.89
■ 一般市議選					
藤沢市	当 谷津えみ	2,953	(36/49)	21	37.08
横須賀市	当 小室たかえ	2,366	(40/50)	36	42.79
平塚市	松本泰子	1,317	(26/36)	31	41.31
大和市	当 山崎さゆき	2,285	(28/34)	14	38.41
	当 くにかね久子	1,736		27	38.41
	当 布瀬めぐみ	1,978		21	38.41
綾瀬市	当 はたい陽子	928	(20/25)	15	39.95

県議会 だより



市民の力で政治を変える

佐々木ゆみこ (ネット宮前/県議)

新しい任期がスタートしました。今回の選挙で女性議員は19人となり女性割合は18.1%、全国3位となりました。昨年、政治分野における男女共同参画推進法が施行され、選挙において男女の候補者の数をできる限り均等になるよう、自主的に取り組むことに努めることとされました。しかし、これは理念法であり、実現には程遠い現状でした。

少子高齢社会がますます進行する中で課題は山積しており、特に地方議会では住民の生活実感に根差した声を反映していくことの重要性が増えています。男女が政治的意思決定過程に積極的に参画し、共に責任を担うとともに、多様な意思が政治や社会の政策・方針決定に公平・公正に反映されることが求められています。男性が占める議会の現状を変えていくことが、何よりも必要です。

さらには、今回の県議選では48選挙区のうち13選挙区が無投票でした。政治への参加の入口とも言われる選挙が

なかったことは、ますます市民から政治を遠ざけてしまうのではないのでしょうか。投票率を上げるためにと投票年齢を18歳まで引き下げた初めての地方選挙でしたが、結果的に投票率は多くの自治体で低下しています。民主主義の学校とも言われる地方自治そのものの存続が危ぶまれるとも言われています。

そもそも神奈川県には3つの政令市があり、県と同様の権限をもち、自治体運営がされています。今回の選挙でも政令市では神奈川県議会への関心が決して高くなかったとの声が聞かれます。神奈川県ではこれまでも政令市選出県議の数を減らす提案をしてきました。県議会が私たちの生活の課題をどれだけ解決するためのものになっているのか、議論をしていくことが必要です。市民の議席を活かし、市民社会を強くするための議会になるように、これからもしっかり活動していきます。

神奈川ネットは、地域政党です。生活の課題は政治に直結しています。国の政党が、地方の政治までコントロールするのではなく、多様な地域政党が政策を競い住みやすいまちをつくる社会をめざします。



今月の神奈川ネット
 ■第4回運営委員会：5/28(火)
 ■市民の生活・活動法律相談：6/19(水)

編集後記 5月下旬に来日する米国のトランプ大統領が海上自衛隊の護衛艦「かが」を安倍総理と視察する予定だ。「かが」は今後、米国から購入する最新鋭のステルス戦闘機「F35B」を搭載し、事実上の空母として運用される▼4月9日に航空自衛隊のF35Aが青森県沖太平洋上に墜落して1カ月。未だに、操縦士は行方不明のまま、機体もごく一部しか見つかっていないが、防衛大臣は事故後も「配備計画を変更しない」と言う▼日本は「F35A」を105機、護衛艦「いずも」にも搭載する「F35B」42機を配備する予定だ。F35は1機116億円で、147機で総額6兆2000億円という巨額な戦闘機ビジネスだ。社会保障費の確保もままならない中で、税金の使い方として到底納得できない (C・M)